

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 10月

平成30年10月1日の推計人口 1,339,438人

世帯数 561,618世帯

参考：H27.10.1 現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

平成30年10月1日現在の推計人口は、1,339,438人で、前月(1,340,180)に比べ742人の減少となった。

市部では大村市(52)の1市で増加し、長崎市(370)、佐世保市(151)、諫早市(68)、五島市(57)、壱岐市(44)、平戸市(36)、松浦市(36)、南島原市(28)、西海市(27)、対馬市(25)、雲仙市(7)、島原市(1)の12市で減少した。

郡部において時津町(115)、川棚町(8)、佐々町(7)の3町で増加し、長与町(30)、新上五島町(20)、波佐見町(10)、東彼杵町(8)、小値賀町(6)の5町で減少した。

自然動態は、出生数795人、死亡数1,305人で510人の減少、社会動態は、転入者数3,043人(県内転入を含む)、転出者数3,275人(県内転出を含む)で、232人の減少となった。

2 世帯数

平成30年10月1日現在の世帯数は、561,618世帯で前月から増減はなかった。

(注)

異動人口推計 = H27国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】… 8月

1人あたり現金給与総額 254,501円

対前月比 21.9%減少

対前年同月比 0.1%減少

1 賃金

8月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額254,501円で、前月に比べ21.9%減少し、前年同月に比べ0.1%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は243,569円で、前月に比べ0.2%増加し、前年同月に比べ1.8%減少した。

特別給与額は10,932円で、前年同月に比べ、4,084円増加した。

2 労働時間

8月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は150.6時間で、前月に比べ1.5%減少し、前年同月に比べ2.9%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は139.8時間で前月に比べ1.5%減少し、前年同月と比べ2.4%減少した。

所定外労働時間数は10.8時間で、前月に比べ1.8%減少し、前年同月に比べ8.5%減少した。

3 雇用

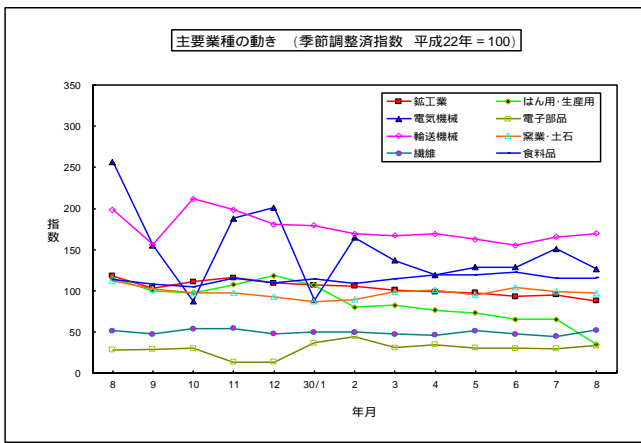
8月の常用労働者数は225,013人で、前月に比べ0.4%減少し、前年同月に比べ2.2%減少した。

【鉱工業生産指数】…………… 8月

平成30年8月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

| 区分 | 季節調整指数 | | 原指数 | 前年同月比(%) |
|-----|--------|--------|-------|----------|
| | | 前月比(%) | | |
| 長崎県 | 87.7 | 7.8 | 82.3 | 24.7 |
| 九州 | 108.8 | 2.2 | 105.2 | 2.8 |
| 全国 | 102.5 | 0.2 | 97.3 | 0.2 |



平成30年8月の鉱工業生産指数は、季節調整指数が87.7で前月比は7.8%の減、原指数は82.3で、対前年同月比は24.7%の減となった。

業種別にみると、繊維工業、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業、食料品工業など6業種が上昇し、はん用・生産用機械工業、電気機械工業、窯業・土石製品工業など7業種が低下した。

主な上昇業種

| 業種 | 前月比 (%) | 前年同月比 (%) | 上昇に寄与した主な品目 |
|-------------|---------|-----------|-------------|
| 繊維工業 | 16.9 | 1.0 | 織物製外衣 |
| 電子部品・デバイス工業 | 12.3 | 21.3 | 半導体集積回路 |
| 輸送機械工業 | 2.4 | 8.5 | 修繕船 |
| 食料品工業 | 0.5 | 1.6 | 焼酎 |

主な低下業種

| 業種 | 前月比 (%) | 前年同月比 (%) | 低下に寄与した主な品目 |
|-------------|---------|-----------|-------------|
| はん用・生産用機械工業 | 47.0 | 71.0 | クレーン |
| 電気機械工業 | 16.2 | 56.5 | 交流発電機 |
| 窯業・土石製品工業 | 2.1 | 11.2 | 生コンクリート |

(注) 前月比は季節調整指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 9月

| | |
|---------------|-------|
| 総合指数(H27=100) | 103.0 |
| 対前月比 (%) | 0.0 |
| 対前年同月比 (%) | 2.0 |

平成30年9月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、103.0である。

前月と同水準で、主な上昇要因は「被服及び履物」の+2.9%、「食料」の+0.2%であり、主な下落要因は「交通・通信」の0.4%、「教養娯楽」の2.3%である。

前年同月比は、平成30年6月は+1.8%、7月は+2.1%、8月は+2.4%と推移した後、9月は2.0%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は102.7であり、前月と同水準、前年同月比は+1.8%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

| | |
|---------|------|
| 食料 | 0.2% |
| 光熱・水道 | 0.4% |
| 家具・家事用品 | 1.4% |
| 被服及び履物 | 2.9% |
| 保健医療 | 0.4% |
| 諸雑費 | 0.1% |

下落した費目

| | |
|-------|------|
| 交通・通信 | 0.4% |
| 教養娯楽 | 2.3% |

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 9月

消費支出(一世帯当たり) 261,184円
前月比 99,229円減(27.5%減)

平成30年9月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は261,184円で、前月比27.5%の減。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は85.6%であった。

| 主な支出内容 | 支出額(円) | 対前月増減率(%) |
|--------|--------|-----------|
| 食料 | 71,222 | 8.3 |
| 住居 | 14,139 | 84.2 |
| 光熱・水道 | 19,344 | 8.4 |
| 交通・通信 | 35,367 | 16.2 |
| 教養娯楽 | 23,313 | 26.0 |

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。